

日高市都市計画マスタープラン (改訂版)の策定にあたって



「日高市都市計画マスタープラン」は、市の都市計画に関する基本的な指針として、将来都市像を描き、その実現に向けたまちづくりの方針を定めたもので、平成23年に策定され、平成28年度に一部改訂を行いました。

この度、前回の改訂から約8年が経過し、令和3年度には「第6次日高市総合計画」が開始されたことから、都市計画事業等の進捗、社会情勢の変化及び都市計画を取り巻く法制度の改正などを踏まえ、都市計画マスタープランの一部改訂を行いました。

本市は、日和田山や高麗川、巾着田などの豊かな自然に恵まれており、また、首都圏中央連絡自動車道の整備に伴い、交通の利便性が飛躍的に向上いたしました。一方で、本格的な人口減少・少子高齢化により、都市を取り巻く社会構造は大きく変化しており、高齢者や子育て世代にとって安心安全な生活環境を実現するためには、医療・福祉、商業施設及び住居を集約したコンパクトシティ・プラス・ネットワークを形成していく必要があります。

このような中、本プランの将来都市像「緑の恵みと活力が調和した安心快適都市 日高」の実現に向け、それぞれの分野において効果的な施策を着実にスピード感をもって推進してまいりました。本市が暮らしの場、産業活動の場として選ばれ、住み続けたいと思える「まち」となるよう、市民と行政が相互に理解を深め、知恵を出し合い、協力し合う取組が重要となりますので、引き続き特段のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、今回の改訂にあたり市民アンケート・市民コメントにご協力をいただいた方々、日高市都市計画審議会にて貴重なご意見をいただきました委員の皆様、心より御礼申し上げます。

令和6年10月

日高市長 谷ヶ崎 照雄